

常磐病院 腎臓内科

研究課題名

維持血液透析患者における酢酸含有透析液とクエン酸含有透析液が血管石灰化と生命予後に与える影響の検討

研究目的

腎機能障害のため血液透析を受けている患者さんでは、全身の血管で動脈硬化や石灰化が生じるため、狭心症や心筋梗塞を引き起こしやすくなることが知られています。一方、クエン酸を含有する透析液を使用すると、通常の透析液と比較して、血管の石灰化の進行を抑制する可能性があります。

この研究では、クエン酸を含有する透析液を使用した場合に、血管の石灰化や心臓合併症の発生頻度等にどのような変化が現れるのかを明らかにするために計画しました。

研究期間

2022年4月25日から2025年3月31日

利用する試料・情報

2017年10月から2022年10月の間に当院外来で血液維持透析を受けた患者さんを対象とします。

ご年齢、性別などの基本属性、診断病名、既往歴や治療経過(血液検査や画像検査結果も含まれます)について、カルテ(診療録)の記録をもとに情報収集します。

なお、個人が特定されないよう個人情報保護に配慮しながら、匿名化された研究用データを取り扱います。また、学会・学術誌等での発表に際しても、個人が特定されないよう十分に留意いたします。

研究責任者及び試料・情報を利用する者の範囲

この研究は、常磐病院(病院長 新村浩明)と東京女子医科大学 腎臓内科(教授 星野純一)との共同研究です。匿名化された研究用の電子データが常磐病院から東京女子医科大学腎臓内科に提供されます。

研究代表者 東京女子医科大学 腎臓内科 教授 星野 純一

常磐病院での研究責任者 腎臓内科 川口 洋

試料・情報を利用する者の範囲 常磐病院 腎臓内科/透析センター スタッフ

もし、この研究活動にご自身の診療記録を利用されたくない場合は、下記の問い合わせ先までお知らせください。この場合であっても診療上、不利になることは一切ありません。

連絡先

ときわ会常磐病院 総務課

〒972-8322 福島県いわき市常磐上湯長谷町上ノ台 57 番地

TEL:0246-81-5522/FAX:0246-81-5577